

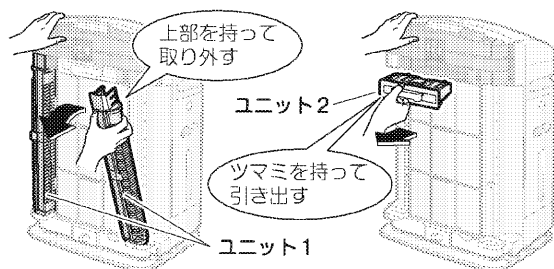
お手入れ



警告
お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
(感電やけがの原因)

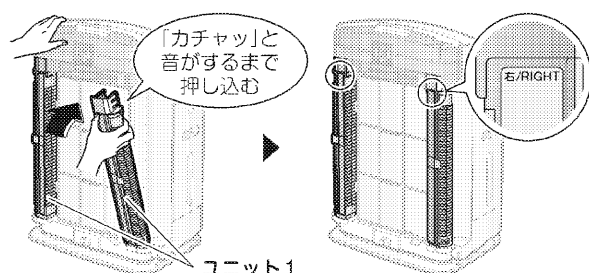
ユニット1・2の取外しかた

- 1 前面パネルを取り外す。
- 2 ユニット1(左右)・ユニット2を取り外す。



ユニット1・2の取付けかた

- 1 ユニット1(左右)を取り付ける。



- ユニット1は左右の区別があります。間違えないように取り付けてください。

- 2 ユニット2を取り付ける。



- 3 前面パネルを取り付ける。

お知らせ

- 本体にユニット1・2を取り付けていない状態で運転すると、安全上は問題ありませんが、性能が低下します。ユニット1・2を取り付けてからご使用ください。

ユニット1(プラスマイオン化部)・ユニット2(ストリーマユニット)

約2週間に1度

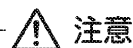
- 1 掃除機で表面のホコリを吸い取る。

「ユニット1・2」洗浄ランプが点灯したら

- 2 めるま湯または水につけおきます。(約1時間)

- 必ず浴室や台所のシンクなど、ぬれてもよい場所で行ってください。
- 汚れがひどいときは、液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水につけおきしてください。
- 液体中性洗剤は洗剤の注意書きで決められた量で使用してください。

- 3 布またはやわらかいブラシや綿棒などで汚れを落とす。



注意

ふき取りやこすり洗いの際は、ゴム手袋を使用する。
(金属部や、イオン化線、ストリーマユニットの針で手を切る原因)

- つけおき後、乾く前に行ってください。
- 布などのせんいクズが残らないようにしてください。(誤作動の原因)
- 粉末洗剤やアルカリ性・酸性洗剤を使用したり、硬いタワシなどでこすらないでください。(変形や破損、金属部のサビの原因)
- ネジは外さないでください。(故障の原因)

- 4 水洗いして、風通しのよい日陰で乾かす。(約1日)

- 洗剤が残っていると、お手入れ後も「ユニット1・2」洗浄ランプが消えないことがありますので、十分に水洗いしてください。
- 直射日光にあてると樹脂部が変色、変形することがあります。
- 少しでも水分が残っていると、お手入れ後も「ユニット1・2」洗浄ランプが消えないことがありますので、日陰でよく乾かしてください。

お願い

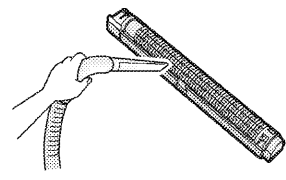
■ユニット1を開けると、イオン化線があります。お手入れの際はこのイオン化線を切らないように注意してください。

- イオン化線が切れたまま運転すると、「ユニット1」洗浄ランプが点灯し、性能が低下します。
- 誤ってイオン化線が切れてしまったときは、交換が必要です。お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。（お客様自身では交換しないでください。）

掃除機 つけおき ふき取り

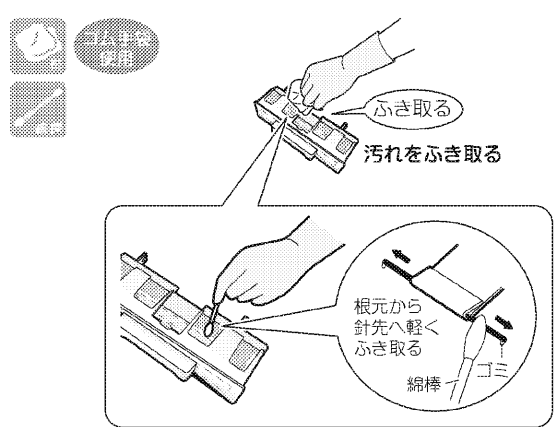
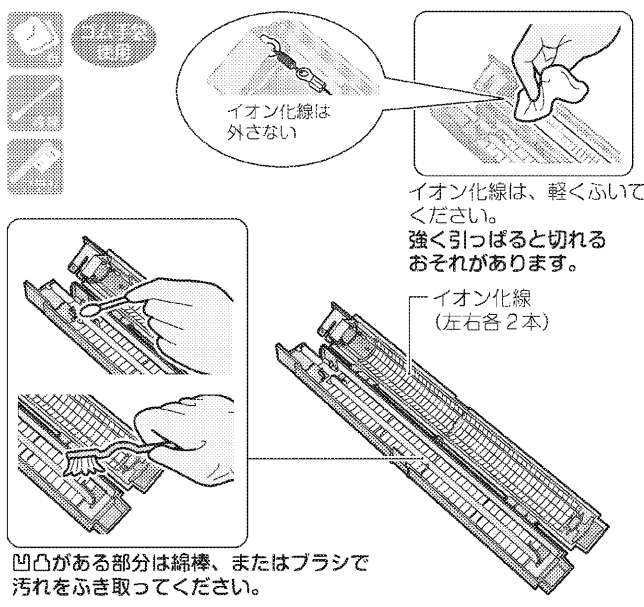
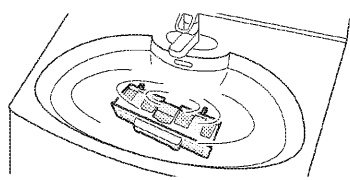
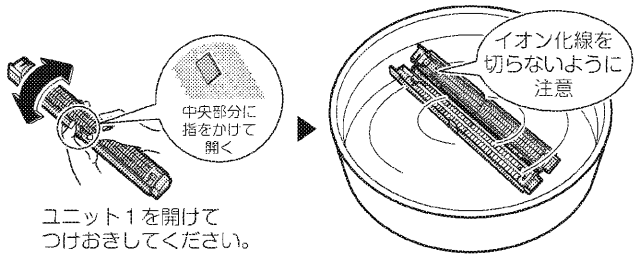
ユニット1

ユニット2

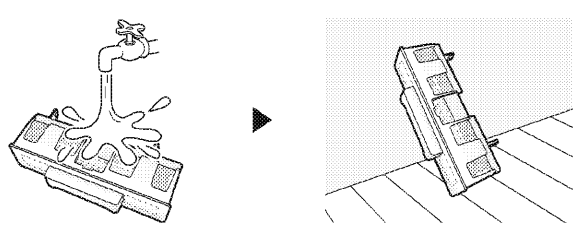
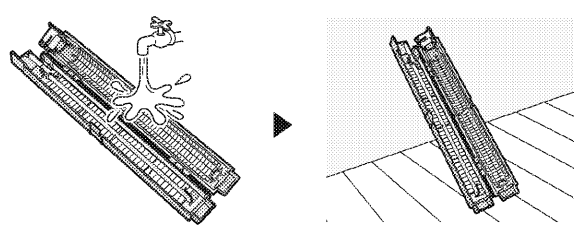


ユニット2は掃除機でのお手入れはしないでください。

(汚れが気になる場合は「ユニット1・2」洗浄ランプが点灯していなくてもお手入れしてください。)



- 綿棒またはやわらかい布で内側の樹脂部や金属部の汚れを落としてください。
- 針にゴミが付着している場合は、綿棒などのやわらかいものに水や液体中性洗剤をしみ込ませて軽くふき取ってください。
- 針が変形すると性能が低下します。



お掃除

掃除機

お手入れ

掃除機

お手入れ